



熊本県立かもと稲田支援学校 読書教育重点校

活動報告

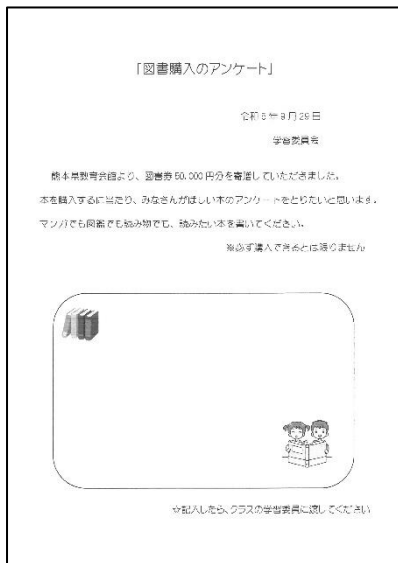
<学校紹介>

本校は令和3年4月1日に開校した、小学部、中学部、高等部を設置する知的障がいのある児童生徒が通う特別支援学校です。山鹿・鹿本地域に初めて開校する特別支援学校として、地域と連携し、地域資源を活用した教育を展開することで、地域で学び、地域で生きていく子どもを育成していくことを目指しています。令和6年2月現在、74名の児童生徒（小学部25名、中学部17名、高等部32名）が学んでいる、2校舎制の学校で、小中学部校舎には図書室、高等部校舎には図書コーナーがあります。

<高等部校舎の図書コーナー>

高等部校舎の図書コーナーは、登校してSHRが始まるまでの間や下校後のバスを待っているまでの間に生徒たちが集まることの多い、多目的ホールの近くに設置しています。これまで、菊池支援学校山鹿分教室から受け継いだ図書が中心でしたので、今回の図書寄贈の助成を活用し、新たに57冊の図書を購入させていただきました。

<学習委員会の活動>



生徒たちが空いた時間に手に取って、自ら意欲的に読むことが増えるように、学習委員会で「図書購入のアンケート」を作成して全生徒に配付・集計するなど、自分たちで読みたい図書を考える活動に取り組みました。

アンケートの集計結果を基に、購入する図書を教師と一緒に考えました。図鑑、文庫、ライトノベル等、様々なジャンルの図書を選ぶことができました。

購入後、図書コーナーに生徒が集まることが増えてきました。今後は、いろんなジャンルの本を読んで、興味の幅を広げてほしいと思います。また、「おすすめの本の紹介」など、学習委員会としての活動も、今後さらに広げていきたいと考えています。

